

日本における経皮的冠動脈インターベンション(PCI)および
冠動脈バイパス手術(CABG)のレジストリー(コホートII)
ST上昇型急性心筋梗塞症例における急性期心電図所見と予後との関係解析 説明文書

◆研究の概要・目的

本研究は、CREDO-Kyoto Cohort II Registry 登録症例(2005年1月～2007年12月)のうち、経皮的冠動脈形成術(PCI: Percutaneous Coronary Intervention)を施行されたST上昇型急性心筋梗塞症例において、急性期心電図所見と予後との関係を検討し、重症度評価および予後予測における急性期心電図所見の有用性を明らかにするものです。

具体的には、CREDO-Kyoto Cohort II Registry における調査項目に含まれる死亡、心筋梗塞といった臨床評価項目に対して、心電図所見と長期予後との関係を検討します。

対象となる方はCREDO-Kyoto Cohort II Registry に登録された方のうちPCIを施行されたST上昇型急性心筋梗塞症例で、急性期の12誘導心電図が入手可能な症例です。

◆プライバシーへの配慮

本研究における心電図解析を目的に京都大学循環器内科内に心電図解析センターを設け解析をします。データ管理上のプライバシーの保護や情報開示に関しては、CREDO-Kyoto コホートII全体で定められたものに準じて行います。具体的には、患者氏名はイニシャルに変換し、各患者のカルテ番号に代わる番号として、当該施設において、登録症例に患者識別コードを付すようにして、個人を特定できる情報公開は一切致しませんし、この研究以外に情報が使用されることはありません。

◆自由意思による参加

この研究に参加されるかどうかはあなたの自由意思で決めてください。同意されないことも自由ですし、途中で同意撤回されることも可能です。いずれの場合にも、診療上の不利益を受けることはありません。

◆診療費用に関して

この研究に参加することによって新たな診療費用が加わることはありません。

《本研究に関する連絡先》

倉敷中央病院 循環器内科 研究責任者：光藤 和明

TEL 086-422-0210